



# TOKUYA TIMES



http://ito-tokuya.com/tokuya

伊藤 とくや

Winter, 2016-17, vol.39

## 『豊橋の教育について』考える

### 39号発行についてのご挨拶

未来へ羽ばたく子どもたちのために、豊橋の教育の根本的な方針をまとめた『豊橋教育大綱』には、「学校」「家庭」「地域」といった3つの教育への約束と、その中心に市長から子どもへのメッセージがあります。

「あなたの夢は何ですか？」と表紙で呼びかけ、扉を開くと「みんなの夢をかなえるために」との見出しで始まる、「教育大綱」こそが、佐原市長の豊橋の教育についてのおもいでであるといえます。

ところで、東京大学総長、佐々木毅先生の「変化する政治・経済の中の自治体経営」というセミナーに参加しました。その際の『今の小中学生は、100歳まで生きる時代を迎えた。「長寿社会」とは少なくとも2回の人生を生きることを指す、しかし雇用も含め社会制度は確立していない。』との話には、正直考えさせられました。同時に、長寿社会を解決するには「教育」しかないと思いました。

### みんなの夢をかなえるために

学校、家庭、地域が協力して取り組みをより一層進めます



### 家庭では…

#### ● 家庭での教育を支援します

家庭は、すべての教育の出発点です。家族のふれ合いを通して、感謝の心、いのちを大切にすること、自尊心や自律心のほか、基本的な生活習慣や社会的マナーなどを身に付けられるよう支援します。

#### ● 安心して子育てができる環境を創ります

家庭での教育は、子どもが成長していく上でとても大切なことですが、不安を抱えている人も多くいます。そこで、人と人をつなぐ取り組みを進めることにより、安心して子どもを産み、育てることができるよう地域ぐるみで家庭を支えていく環境を創ります。

### 学校では…

#### ● 一人ひとりを大切に教育を進めます

一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細やかな学習指導として、少人数による指導体制の充実を図ります。特に、障害のある子どもを含め、支援を必要とするすべての子どもたちに対し教育相談等の充実を図ります。

#### ● 学力と体力を向上させます

学びの中心の場である学校では、小学校高学年への教科担任制の導入や「体づくり運動」などを実施し、生きる力の基盤となる学力と体力の向上を図ります。

#### ● 人間教育を推進します

人間としてのより良い生き方・あり方を学ぶ道徳教育やキャリア教育、郷土学習等を通して、豊かな人間性や社会性を育みます。

#### ● 地域に根ざした学校運営に努めます

学校には、地域の歴史や風土を基盤とする独自の学校文化があります。地域の中の学校として、自主・自律の学校運営のもと、温かな目で子どもを見守る保護者や地域の方々など多くの協力者と手を携え、特色ある学校づくりを推進します。



### 地域では…

#### ● 学びの輪を広げます

いくつになっても学び続けることは、豊かな人生を送る上でとても大切なことです。誰もが自ら学ぶことができ、さらに学んだ知識、経験が、地域の中で広がるよう支援します。そのような学びの輪を活かして、地域ぐるみで子どもを育てる活動を促進します。

#### ● 郷土への誇りと愛着心を育みます

地域の教育活動を支える人材の育成を図ること、地域の祭りや歴史、伝統、文化を伝える活動を促進し、郷土への誇りと愛着心を育みます。

豊橋市の未来は、ええじゃないか

～市長から子どもたちへのメッセージ～

豊橋市では、一人ひとりの個性や能力に応じた教育を行うことで、笑顔があふれ、誰もが夢を持ち輝くことができるようまことにたいと思っています。

そのために、勉強が好き、スポーツが好き、歌やダンスが好き、工作や絵画が好き、生き物が好きなど、それぞれの「好き」を応援していきます。

失敗は、何度でも大丈夫です。いろいろなことに挑戦して、できるようになる、分かるようになる、その喜びや感動の積み重ねが、みんなを大きく成長させることでしょ。

そして、みんなが大人になったとき、自分も豊橋市で子どもを育てたいと思えるような魅力あるまちにしていきたいです。

豊橋市では、未来の豊橋市を創るみなさんを応援します。

豊橋市長 佐原 光一

### Q1 佐原市長の目指す豊橋の教育について

#### (1) 「ええじゃないか豊橋教育大綱」に示した豊橋の教育とは？

学校教育、家庭教育、地域教育について伺う。

**A** 子どもを育てていく過程において、「学校」「家庭」「地域」、そして行政を始めとする関係機関が、子どもたちを支えるためにそれぞれがベストを尽くしていくことが必要であり、この街の未来にとって最高の投資であると考えます。

#### (2) 市長が3期目の公約に掲げた教育が未来への投資とは？

「教科担任制の拡充と小中一貫教育」「生きる力を育むキャリア教育やグローバル教育」「小規模校への授業連携」「大学生への給付型奨学金」について伺う。

**A** 教育を未来への投資に繋げるための対応については、基礎教育の徹底と、変化の激しい社会環境にも対応できる将来を見据えた教育機会の提供であると考えます。

#### 再質問 3期目の公約は政策として評価は必要不可欠では？

今回の選挙を経て、『豊橋市教育大綱』について市長の考えの変化は、教育政策施策の公約の部分については今後どの様に進めていくのか、機能する総合教育会議の運用とともに伺う。

**A** 教育には継続性がすこぶる重要であるため、子どもたちの夢を叶えるための基本的な方針を定めた本市の大綱は、市長選挙後も変更はありません。選挙公約や所信表明に掲げた教育政策の進め方と評価は、いずれも重要かつ中長期的な計画として取り組みます。

### 伊藤とくやのおもい

「学校教育」は、知・徳・体のバランスのとれた力が、変化の激しいこれからの社会を生き抜く「生きる力」を育みます。

しかし…

「知育/学力」は、全体として見れば国際的に上位だが、読解力など低下傾向にある。学ぶ意欲や学習習慣が必ずしも十分でなく、今後は学力調査の結果等を活用しての学力の現状把握・分析・評価・改善・検証という流れの定着が課題である。

「徳育」は、小・中学生の規範意識に低下傾向がある。

「体育」は、(昭和60年頃より)長期的に低下傾向にある。

「学校」「家庭」「地域」が連携し、子どもの規範意識や体力の低下傾向に歯止めをかけることが必要である。

「家庭教育」は、家庭は子どもの心のよりどころであり、全ての教育の出発点である。しかし、家族形態の多様化をはじめ、過保護や過干渉、放任や虐待など家庭の教育力の低下の問題がある。

「地域教育」は、学びの好循環を実現するための仕組みづくりをそれぞれ施策として進めてきている。しかし、近年の度重なる青少年の凶悪犯罪や、いじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題の背景の一つは「地域の教育力の低下」であると指摘されている。

#### それぞれの教育に、表と裏がある。

● 佐原市長の選挙公約・所信表明に掲げた教育政策に大いに期待するとともに、しっかりと点検することをお約束してこの質問は終わりとなります。





学問・書道の神様「菅原道真公」を祭った『吉田天満宮』の満開の紅

**Q2 観光立国の意義をふまえた本市の教育とは？**

- 児童生徒たちの旅をする心を育む教育の現状と課題について
- 地域を愛する心、その地域を誇りに思う心を育み、将来の地域づくりの担い手を育成する教育の現状と課題について伺う。

**A** 子どもたちの豊かな情操、視野の拡大には、わが国の歴史や文化、自然や産業への理解を深めることが大切である。

- 修学旅行では、事前学習とともに、生徒の安全を大前提に生涯の思い出をつくるよう取り組む。歴史的建造物・自然・首都を体感し、感動を味わうと同時に公衆道徳や人との関わりを学ぶ。
- 修学旅行のねらいが生徒一人の将来の人生に繋がる大切なパーツ。
- 「ふるさと良さ」に目を向けさせていくことが、今後の課題。

**再質問 地域の良さを学んだ子どもたちが豊橋の魅力を発信することが重要であると考えているか？**

**A** 郷土学習は地域の良さを意識させるために必要であり、地域の良さを学んだ子どもがその魅力を他の人に語る姿は、郷土を誇りに思う意識の表れである。学校では、地域の魅力を発信する子どもの姿があらゆる場面で見られるよう支援していきたい。

**伊藤とくやのおもい**

学校で、家庭で、地域で、あらためて地域の良さを学び、楽しみ、郷土への思いを膨らませる、この教育の取り組みが、子どもたちのアイデアによって大きく花開く、また地域の良さを再認識することで、都市圏への人口の流出が止まらない地方都市「豊橋」に、ふるさと回帰といった好循環をもたらすことを大いに期待したい♡♡♡

- 他者と積極的にコミュニケーションをとる姿を示すことで、子どもの学ぶ模範となる、「教育者のすがた」に大いに期待する♡♡♡

**Q3 豊橋市においての、国際理解を深める教育の推進とは？**

世界の動向を視野に入れながら、国際社会を主体的に生き抜く児童生徒を育成する、国際理解を深める教育の推進について伺う。

**A** 「国際理解教育」は、今日多くの先進国の小中学校で、既存の教科と並行して力を入れている教育テーマのひとつであり、本市では総合学習としても行われている。

**伊藤とくやのおもい**

- 国際理解を深める教育には、おのれ自身で立つ気概と研鑽を重ねる「独立自尊」を学ぶと同時に、他者を排除することなく、他を尊ぶ寛容さを養い共に生きる覚悟を持つ「共生他尊」を学び、自分だけが良いという利己「唯我独尊」を戒める為の教育が必要である。
- 教育基本法には幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこととしているが、今まさに広い視野で社会情勢をとらえていく教育者の資質が求められていると思う。
- 教育者に求められるのは国際交流における率先垂範である。
- 「自国の歴史や文化を尊重する」「他国との価値観や立場の違いを理解し、多面的に物事をとらえる」「教員自身が自分の意思をすすんで伝える」「他者と積極的にコミュニケーションをとる」
- 子どもの学ぶ模範となる教育者の、その姿に大いに期待する♡♡♡

**Q4 ユネスコスクール豊橋大会の開催とは？**

- 事業のねらいと進捗状況について
- 大会を契機に得られる教育的効果について

**A** ユネスコスクール・ESD 活動の意義が教職員・子ども・地域に、浸透することであり、また各学校で異なる取り組みが相互に理解する機会である。

- 大会を通して、教職員一人一人がESDについての認識を深め、取り組みを見直す、活動を充実させることは、子どもたちの「生きる力」を育むことにつながると考える。

**伊藤とくやのおもい**

ユネスコスクール加盟のメリットは世界につながる活動であり、人権、平和といった世界規模の課題にも合致するグローバル教育のひとつである。

- 豊橋の教育プロモーションとしての大会成功に導くことに異論は無いが、大会は「豊橋のESD教育の終着点ではなく再出発点」にしなければならない。
- 現状は、豊橋ユネスコ協会が主催する東三河ESD・ユネスコスクールフォーラムが開催され、今年で3回目を迎えており、毎年小中学校合わせて4校ほどがESD活動を発表し、連携・協力を広げる交流の場となっている。
- 豊橋大会は参加校・参加人数も大規模なものとなり、さらに推進のキーパーソンである「先生」がESD活動について研究し、認識を深める場としていただきたい。そのためにも今後、豊橋大会を盛り上げる様、豊橋ユネスコ協会及び他団体等関係機関との連携を図りながら、早く大会の骨格を固め広報していただきたい。😊😊😊

**あとがき** 新春の2月には東三河広域連合議会が招集されました。一般質問は「東三河の特徴を活かした、これからの産業振興への認識と対応について」(愛知県と対比しての)東三河各市町村の産業の特性特徴への認識と対応について、「東三河各市町村行政の、産業振興への取り組みの認識と対応について」「東三河の各市町村の産業振興を司る団体と各自治体の連携への認識と対応について」をテーマとしました、委員会、予算委員会も開かれ、宿題は「山盛り」です！

**市政報告会のお知らせ**

日付 平成 29 年 4 月 18 日(火)  
 時間 18 時 30 分より  
 会場 カリオンビル(松葉町 2 丁目)  
 お気軽にお越しください！



**発行**

伊藤とくや事務所  
 豊橋市松葉町 3-68  
 FAX : 0532-56-5521  
 TEL : 0532-53-4556  
[bbito@mx1.tees.ne.jp](mailto:bbito@mx1.tees.ne.jp)  
 携帯 : 090-3855-9696